

明治十年四月

日本海命令航路  
ニ関スル件

外務省

3-2059

0098



通商景慕  
支(列)

高  
2/14

公第一二九號

日本海令航路ニ關スル件

從來日本海令航路ニハ大家商船合  
 資會社所屬汽船交通丸及宮島丸  
 二隻ヲ以テ之ニ充テ本邦西北岸、韓國北  
 岸各港及當浦潮港間、航海ヲ維持シ來リ  
 茲本年三月ニ於テ前記航路ノ補助期  
 限満了ト共ニ過敏帝國議會、協賛ヲ  
 任テ新ニ政府ヨリ補助ヲ供フルコトナリ  
 タル日本海令航路中敦賀、浦潮港間  
 直航線及同迴航線ハ今回大坂高船株  
 式會社ニ於テ令々受テ迴航線ニハ  
 從來使用ノ交通丸ヲ充用シ伏木ヨリ函  
 館小樽ヲ經テ當港ニ來リ近年當港市場  
 ニ於テ好望ナル燕麥、林檎、王葱、麥酒等、  
 輸入ヲ謀リ又直航線ニハ專ラ開城丸(二十  
 噸以上)ヲ充用シ每週一回敦賀、當港間ヲ往  
 復シ昨夏以來殆ント露國東亞汽船會  
 社獨占ノ姿ナリシ同航路ハ今後日露兩國  
 汽船ヲ以テ定期航路ヲ維持シ歐、露直通  
 列車トシテ連絡最モ便宜ヲ加ヘ刺若シ汽  
 船ニ於テ船容、貨主、利便ヲ謀リ船内設備  
 ノ完全ヲ期スルニ於テハ將來最モ有望ナル  
 航路トシテ、素而シテ大坂高船會社  
 本航路ヲ開クニ當リ露國東亞汽船會

在浦潮港日本貿易事務館

123 高

10.

社トノ同ニ将来或ハ生スルコトアルヘキ無益ノ  
 競争ヲ避ケンカクメ最モ注意ヲ加ヘ運賃  
 等ハ総テ東亞汽船會社ト同類ニ定メ又奈  
 着日取ハ殊更同會社ノ日取ト異ニシ決  
 シテ同會社ニ對シ競争ノ念ナキヲ示シタ  
 ル事又開城丸ハ暫時使用ノ筈ニテ  
 追テ新造船鳳山丸ヲ以テ本航路ニ充ツヘ  
 シト云フ

右及報告候敬具

明治四十年四月十日

在浦潮

貿易事務官 野村甚信



在浦潮港日本貿易事務館

外務大臣子爵 林 董 殿



通商事務

通商事務  
第四拾四號  
基  
年  
濟

公第一三六號

五七九七

日本海命令航路之開之續報

日本海命令航路中浦潮、敦賀間  
直航之路、開城九ノ小樽、浦潮間  
廻航之路、交通航路之件、  
開、本月十日、開城九ノ小樽、  
中津、青森、右開城九ノ小樽、  
敦賀、敦賀、亦、曜日、當港、着、每土曜  
日、當港、着、月曜日、敦賀、着、日取  
、之、從、來、當港、敦賀、間、直航、之、路、  
、從、事、也、云、露、至、東、亞、汽、船、會、社、使  
用、船、ト、約、三、日、間、之、距、ヲ、出、入、ス、ル、次

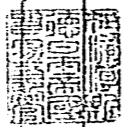
在浦潮港日本貿易事務館

第、有、之、素、而、之、廻、航、之、路、ノ、小、樽  
、起、点、ト、浦、潮、七、尾、函、館、伏  
木、及、新、浮、間、之、廻、航、之、約、二、週、間、  
毎、日、浦、潮、及、當、港、間、之、交、通、之、支  
持、ス、ル、為、メ、有、之、素、別、紙、航、路、費、  
着、者、之、通、知、也、云、此、般、申、進、身、教、具、

明治三十年四月十七日

在浦潮

貿易事務官野村基信



外務大臣子爵林董殿

106 商

大坂商船株式會社  
汽船關城丸  
敦賀浦塩斯德直航  
定期表

敦賀	斯德	浦塩	敦賀
着	發	着	發
日曜月毎	日曜土毎	日曜木毎	日曜火毎
前午	後午	後午	後午

浦塩斯德  
代理店  
杉浦商船公司



